

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2026年5月15日）

### ■第3版 第1刷（2026年1月10日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
4章					
68	図9	塩基(アデノシン)	塩基(アデニン)		26/05/15
8章					
145	コラム表A mRNAワ クチン 特徴	病原体の一部の成分(タンパク質)を体内に投与し	病原体の一部の成分(タンパク質)を <b>指定するmRNA</b> を体内に投与し		26/05/15
10章					
188	下から4行目	まず窒素は、窒素 <b>同化</b> できる細菌などによりアンモニウム塩(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )になる。さらに <b>別の細菌の硝化作用</b> により亜硝酸塩(NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )・硝酸塩(NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )となる。	まず窒素は、窒素 <b>固定</b> できる細菌などによりアンモニウム塩(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )になる。さらに <b>硝化作用を持つ細菌</b> により、亜硝酸塩(NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )・硝酸塩(NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )となる。		26/05/15